

「iPS細胞研究ロードマップ 平成21年6月 文部科学省」より抜粋

H21 H22 H23 H24 H25 H26 :5年後 H27 H28 H29 H30 H31 :10年後...

目標1 基礎研究

- ・ i P S細胞の初期化の分子メカニズムの解明【5年以内】
- ・ i P S細胞とは異なる新たな多能性幹細胞の樹立【5年以内】

目標2 標準化

- ・ 高品質でリスクの少ない作製方法の確立
- ・ 評価方法の確立

- ・ 高品質でリスクの少ない i P S細胞を国内外に配布する体制の構築【3年以内】

- ・ 高品質でリスクの少ない i P S細胞を国内外に安価かつ同条件で配布【3年後以降】

- ・ i P S細胞を作製すべき疾患の整理と作製
- ・ 各疾患の研究者への i P S細胞に関する技術講習
- ・ 創薬に利用できる毒性評価系の産業応用【進捗中】

目標3 iPS細胞の 疾患研 究・創薬 応用

- ・ 疾患研究用 i P S細胞の作製方法の確立とその最適化
- ・ 疾患研究用 i P S細胞の評価方法の確立
- ・ 疾患特異的 i P S細胞バンクを整備 (理研BRC)【2年以内】

- ・ 疾患特異的 i P S細胞の国内外研究者への配布 (理研BRC)【2年後以降】

- ・ 先天性疾患の疾患特異的 i P S細胞を用いた病態の再現と解明
- ・ 後天性疾患の疾患特異的 i P S細胞を用いた病態の再現と解明【5~10年】

ロードマップ（工程表）イメージ（2）

目標4 再生医療

